

「中国・アジア」ダイジェスト

2013.04.29－05.10

*記事は東京発行・最終版

CHINA

4月29日(月)

オークマ、海外調達30%

工作機械部品 / 中国・台湾開拓

オークマは、工作機械を構成する部品の海外調達を拡大する。2012年度の期中平均で20%未満にとどまる海外比率を、2013年度は30%に引き上げる。中国や台湾などを念頭に調達先を開拓。(1面)

シロキ工業、サテライト工場

鄭州市 / タイは第2工場

シロキ工業は、中国とタイにそれぞれ生産拠点を新設する。中国では河南省鄭州市に最終製造工程のみを行うサテライト拠点を設け、2013年12月に稼働。タイは第2工場を設置。(5面)

東洋機械金属、中国で大型機

射出成形機 / 500 600トクラス生産

東洋機械金属は、中国で型締め力500 600トクラス的大型射出成形機の現地生産に乗り出す。2014年3月をめどに現地法人である東洋機械金属常熟(江蘇省)の工場を拡張して対応する。(6面)

5月1日(水)

山洋電気、中国で倍増

サーボモーター

山洋電気は、2013年度に中国でのサーボモーター類の製販を2倍の30億円に引き上げる。大手EMSによるロボット・製造機械の内製化や日本のロボメーカーの中国生産開始で需要急増。(7面)

住商、砂糖製販で合併

安全・高品質の需要増加

住友商事は、香港の砂糖販売・タイク・シュガーと韓国の製糖会社・T Sコーポレーションとの3社で広東省に砂糖製造販売の合併会社の設立で合意。安全・高品質な砂糖の需要が増加。(13面)

5月2日(木)

点火プラグで中国専用モデル

日本特殊陶業 / 貴金属の使用減

日本特殊陶業は、補修用自動車エンジ

朴槿恵(バク・クンヘ) 韓国大統領⑥がオバマ米大統領と会談(ブルームバーグ)



ン点火プラグの中国専用モデルを導入する。現地の普及価格帯の乗用車向けを想定。貴金属の使用量を減らして製造コストを下げた。(1面)

人民元高で輸出企業が苦戦

4月 / 製造業景況指数が低下

中国の4月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は、前月比0.3%低下の50.6となった。前月は上昇に転じていたが、再び低下した。人民元高を背景に、輸出企業が苦戦。(時事=2面)

製本機、中国に高機能モデル

太陽精機 / 日米欧と同種

太陽精機は、中国市場に先進国と同仕様の製本機を導入する。これまでは機能を絞った低価格モデルを販売。人手不足が深刻で、自動化された日米欧と同じ機種に切り替える。(6面)

立型水冷ディーゼル、中国生産

ヤンマー / 年6万台

ヤンマーは、中国の現地法人で建設機械やフォークリフトに搭載する産業用立型水冷ディーゼルエンジンの生産を8月始める。2015年に年産6万台の能力に。小型建設機械の需要が拡大。(6面)

良品計画の中国ECサイト構築

NTTデータ

NTTデータは、良品計画の中国向け

5月6日(月)

日中韓・環境相会合が開会

PM2.5対策など討議

日中韓3カ国環境相会合が、北九州市で開会。中国で深刻な大気汚染の原因・微小粒子状物質PM2.5対策などを話し合う。秋野公造環境政務官は国境を越えた協力を呼び掛けた。(2面)

総合化学「医療関連」拡大

主力の石化、中国が攻勢

総合化学が、医療関連事業への投資を相次ぎ打ち出した。主力の石油化学は中国の生産増強に伴う供給過多で市況が軟化し、採算が悪化。医療事業は世界の高齢化で需要増が見込める。(7面)

エーザイ、蘇州市に新工場

アンプル剤 / 年6000万本

エーザイは、蘇州市に注射剤工場を新設する。生産能力は年間6000万本。総工費は十数億円。抹消性神経障害治療剤のアンプル剤を生産。原薬の調査、充填、包装まで一貫。(7面)

スクーター「シグナス・レイ」



スクーターが印デザイン賞

ヤマハ発 / 若い女性向け

ヤマハ発動機は、インドで生産販売するスクーター「シグナス・レイ」が、「インディアデザインマーク」を受賞。2年連続。若い女性向けのスタイリッシュなデザインが評価された。(5面)

オーム電機、タイ現調90%

オイルミスト回収機の部品

オーム電機は、タイで生産するオイルミスト回収機の部品の現地調達を、2013年度内をめどに50%増の90%に高める。主に日本や中国から輸入している部品を現地調達に切り替える。(6面)

5月6日(月)

2輪車大国 - インド攻略急加速

ホンダ・ヤマハ発・スズキ

2輪車大国・インド。2012年には、約1400万台と中国を超えて世界1位。2輪車世界大手のホンダやヤマハ発動機、スズキはインドでの事業体制整備を急ピッチで進めている。(5面)

東芝、ミャンマーに支店

社会インフラ事業情報収集

東芝は、ミャンマーのヤンゴン市に支店を開設する。5月から2人が常駐し、主に電力設備や昇降機、医療機器など社会インフラ事業における市場調査、情報収集のために活動する。(6面)

コクヨ、インド生産を機械化

ペン・インクなど一部ライン

コクヨは、製造時間の短縮と品質向上を狙いに、インドの文具生産子会社であるコクヨカマリンの製造工程を見直す。2014年に手作業中心のペンやインクなどの一部ラインを機械化。(9面)

5月8日(水)

シンガポール物流大手を買収

SGホールディングス

SGホールディングスは、シンガポール物流大手アメリロイド・ロジスティクスを買収する。買収金額は約30億円。海上、航空輸送のハブ・シンガポールの大手買収で事業基盤を強化。(3面)

アジア・アフリカ仕様投入

三菱ふそう / ダ임ラーと開発

三菱ふそうトラック・バスは、アジア・アフリカ地域向けの戦略車を年内投入する。独ダ임ラーのインド生産子会社・ダ임ラー・インド・コマース・グループが共同開発する。(5面)

5月8日(水)

日産、中国プラス転換

4月2.7%増 / 10万2800台

日産自動車は、4月の中国での新車販売が前年同月比2.7%増の10万2800台となった。日本車不買が生じて以降、春節の連休で稼働日が多かった1月を除いて初のプラス転換になった。(5面)

三菱重、バラスト水処理で協業

中船澄西新栄船舶に図面・指導員

三菱重工業は、中国の中船澄西新栄船舶と就航船舶に搭載するバラスト水処理装置の設置改造事業で協業する。三菱重工が設置改造に必要な図面を供与するほか、指導員を派遣する。(7面)

中国・産口ポの実力は?

現地需要は外資系

中国では、年10%以上の人件費上昇で自動化・ロボット化が急速に進む。現地で使われているのは、ファナックや安川電機、独KUKAロボット、スイスABBなど外資系ばかりだ。(9面)



垂直多関節ロボ(嘉興瑞宏精密機械)

コーセー、中印欧を拡大

中間層テコ入れ / 海外30%に

コーセーは、海外事業を加速する。進出している中国は中間層向け販売戦略をテコ入れする。インドや欧州などの新規市場に積極的な投資を行う。海外売上高30%を目指す。(19面)

5月9日(木)

中国4月、輸出入とも増加

貿易収支、181億6000万ドル黒字

中国の4月の貿易統計は、輸出が前年同月比14.7%増の1870億6000万ドル、輸入

は同16.8%増の1689億ドルとなった。貿易収支は181億6000万ドルの黒字。中国税関総署まとめ。(時事=2面)

春秋航空、日本の国内線に参入

中国の観光客の利便性高める

中国のLCC・春秋航空は、日本の国内線に参入する。現在、日本路線として上海から茨城、佐賀、高松に3路線を就航。国内線就航で中国からの観光客の利便性を高める。(3面)

リクルート、香港の大手買収

9カ国21都市体制

リクルートHDは、香港の人材大手ボーレ・アソシエイトを買収した。2010年に同社に14.3%出資。今回、100%取得した。タイ・バンコク市などを加え9カ国21都市の拠点体制を構築。(3面)

T H K、中国30%増210億円

吉林省などに拠点新設

T H Kは、2013年の中国売上高を30%増となる210億円(約13億円)に引き上げる。吉林省、安徽省、福建省、寧夏省に新たな販売拠点を設置する計画。ロボット向けに直動案内機器を拡販。(6面)

5月10日(金)

三一重機との提携拡大

三菱ふそう / エンジン供給

三菱ふそうトラック・バスは、中国の油圧ショベルメーカー、三一重機との提携関係を拡大で合意した。油圧ショベル用エンジンの供給を増やすほか、商品の共同開発なども進める。(5面)

丸順、プレス部品3割増産

ホンダ・フィアット・北京汽車増加

丸順は、広州市のプレス部品工場の生産能力を2014年4月をめどに3割増強する。投資額は18億円。ホンダなど日系3社からの受注増、フィアットや北京汽車などの受注拡大に対応する。(5面)

旋盤、日中で増産

高松機械 / 7割増・月産50台

高松機械工業は、日本と中国で生産体制を強化する。中国では杭州市内で移転拡張した工場を6月に稼働、CNC旋盤の月産台数を2014年3月をめどに、従来比約7割増の50台に増やす。(7面)

東和薬品、世界基準に対応

後発薬品質管理 / アジア照準

東和薬品は、各国の医薬品製造・品質管理基準クリアするため工場整備に着手。後発薬を世界展開。日米欧3極の基準に山形工場に対応。大阪・岡山でも基準に対応する。アジアに照準。(11面)

5月10日(金)

日本公庫、452社に融資

小規模事業者 / アジア照準

日本政策金融公庫が、2012年度の中小企業の海外事業に伴う融資のうち、小規模事業者利用が前年度5社から452社に。融資先の約半分にまで拡大。アジアの成長力を取り込む動きが加速。(1面)

日本金銭機械、フィリピン工場

カジノ / 用識別機 / 欧米好調

日本金銭機械は、フィリピンに工場を3年内をめどに新設する。長浜工場と広島工場のほか、中国・深圳に委託工場を持つ。カジノ用の紙幣識別機などの北米向けが好調で欧州も堅調。(3面)

ホンダ、販売店3割増

中型都市にも出店 / 200店体制

ホンダは、2016年までにインドの販売店を3割増やし200以上に拡大する。主要都市中心から中型都市にも出店。年間販売を4倍超の30万台に。低価格小型車の投入で顧客層に広がり。(5面)

韓国KJブレッテック資本提携

ミネバ / バックライト・金型

ミネベアは、液晶用バックライト事業の拡大と競争力強化を図るため、韓国のKJブレッテックと業務・資本提携する。KJPは広東省に工場を持ち、液晶用バックライトや金型を製造。(6面)

ニッケ、タイでF A機器生産

日系電機メーカー向け

ニッケは、タイでF A機器事業を6月に始める。アマタナコン工業団地に賃貸工場を借り、F A機器を現地生産する。日系電機メーカー向け。自動車関連や電子部品の生産拡大を追い風。(7面)

韓国製インドミル輸入販売

曜産業 / 高品質・3割安く

曜産業は、韓国製インドミルの輸入販売を本格化する。京都府などで販売先の評価が得られたと判断し代理店を通じ全国展開を決めた。国産品と同水準の品質で価格は2、3割以上安く。(7面)

ベトナムに包装資材工場

ジャパン・プラス / 年120万個

ジャパン・プラスは、ベトナムのホーチミン市にプリスターバックと呼ばれる化粧品や雑貨の樹脂包装資材工場を設置。5年以内に稼働。年産能力は約120万個。5年後に生産能力を3倍に。(13面)

商船三井が2新航路

シンガポール=インド洋諸島・アフリカ

商船三井は、シンガポールとインド洋諸島を結ぶ新航路とシンガポールとモザンビーク間を6月7日開設。アジアのハブ港となっているシンガポールとインド

今回は -

「中国・アジア ダイジェスト」

面の今回は27日(月)に掲載します。

たばこフィルター材料増産

ダイセル / 年4万8000ト

ダイセルは、たばこフィルター材料のアセテート・トウを2015年度をめどに中国で増産する。生産能力の2倍に当たる年4万8000トに引き上げる計画。中国のたばこ専売公社に販売する。(11面)

皮革用化学品製造プラント稼働

独ランクスス / 年産能力5万ト

独ランクススは、常州国家高新技术産業開発区に新設した皮革用化学品製造プラントが稼働。主な需要先は自動車で、革なめし、染色、表面処理用途。年産能力5万ト。投資額は約40億円。(11面)

TELOP

仏フォルシア、内装合併

長安汽車集団と折半出資(29日5面)

華南強化へ広州に販売拠点

荒川化学 / 電子材料(1日11面)

香港に技術サポート拠点

独ランクスス / エンプラ(1日11面)

青島ビール合併など事業開始

サントリー(1日13面)

ファシリティマネジメント拡大

イオンディライト(6日9面)

三井住友カード、上海に現法

中国進出支援でコンサル(10日17面)

ひと

現地に溶け込む

「中国の会社として、環境への取り組みと社会的責任を果たす」と宣言するのは、独フォルクスワーゲン会長のマルティン・ヴィンター・コルンさん。「製品の安全性を最優先し、品質も上げて安心と信頼を勝ち取たい」。現地に溶け込み、歩みを進める。(29日=5面)

洋諸島、アフリカを週1便。(13面)

ヒキフネ、メッキ工場を操業

タイ / 日系の現地調達増

ヒキフネは、タイのアマタナコン工業団地に新設した100%出資のメッキ事業子会社を6月に操業する。日系メーカーの現地調達増に対応するとともに、震災などのリスク分散。(25面)

広島銀行、シンガポール事務所

ASEAN全域カバー

広島銀行は、シンガポールに駐在員事務所を7月8日に開設する。ASEAN全域をカバー。企業の進出意欲の高まりに対応、最新で有意義な情報を提供。上海、バンコクに次ぐ3カ所目。(26面)

TELOP

マレーシアに電動工具販売

マキタ(1日7面)

ミャンマーで工業団地開発を調査

三菱商事・丸紅・住商(2日12面)

印ベンガルールに営業拠点

みずほコーポ銀(2日15面)

インドネシア銀行と提携

JCB(8日21面)

日伝、ジャカルタに事務所

営業支援の拠点(9日6面)

東洋ゴム、マレーシア工場完成

年産250万本(10日5面)

ひと

ベトナムはビール好き

「中国リスクを回避するため、ベトナムに進出する日系企業が増えている。ビジネスチャンスだ」とサッポロインターナショナル取締役の岩田義浩さん。ベトナム国民はビール好き。消費量がタイやインドネシアに比べて多い。「日系と現地需要の双方に期待」。(30日=9面)

台湾に勝機

「台湾向け微細プレス加工には勝機がある」と微細加工研究所業務執行社員の伊藤国吉さん。金型販売も受託プレス加工も国内よりいい値段が付くとか。「抜く・曲げるは台湾企業もできるが、鍛造や絞りといった3次元の加工は腕の良い会社が少ない」と分析。(2日=21面)

先見の明

「娘にはベトナム語を勉強するように言い聞かせてきた」とトプコン元執行役員の高橋潔さん。ベトナムが大きな役割を担い、現地語の使い手が重宝されると先読み。「娘は外語大でベトナム語を専攻し、就職した大手重工会社で語学力を生かしている」と笑み。(9日=7面)